

2017 文京学院大学・淑徳大学共催公開講座

# Discover Nature in Japan

日本人なら外に出よう！  
～自然を愛でる旅～

第1日目  
テーマ

## 身近な自然の楽しみ方

10月7日(土) 13:30～16:20

よく目にしている身近な自然、とはいえ実は案外知らないことも多いのではないのでしょうか？目の前のこと、そしてさらには壮大な自然界に至るまでを私たちと一緒にゆっくりと考え直してみませんか？なお、ご自宅に植物図鑑をお持ちの方はご持参ください。

ワーク  
ショップ

「身近な植物の楽しみ方  
～私だけの図鑑～」

森下 英美子  
(文京学院大学 環境教育研究センター 研究員)

講演

「自然との共生  
～自然のメカニズムから学ぶ～」

中山 智晴  
(文京学院大学 人間学部 教授)

会場

文京学院大学ふじみ野キャンパス

ふじみ野駅西口からスクールバス(無料)で約7分  
※駐車場については数に限りがありますので、なるべくスクールバスをご利用ください。

第2日目  
テーマ

## 日本とイギリスの国立公園の楽しみ方

10月14日(土) 13:30～16:20

各国は「国立公園」という制度で景勝地を守り、環境を保全し、観光・レクリエーション・文化活動への活用を模索してきました。ここでは日英の国立公園を比較しながら、観光のあり方を考えます。

講演1

「日本の国立公園の  
新たな動きと楽しみ方」

堀木 美告  
(淑徳大学 経営学部 観光経営学科 准教授)

講演2

「イギリス北西部の国立公園  
『湖水地方』の楽しみ方」

岩村 沢也  
(淑徳大学 経営学部 観光経営学科 教授)

会場

淑徳大学埼玉キャンパス

みずほ台駅西口からスクールバス(無料)で約5分  
※駐車場はありませんので、スクールバスをご利用ください。

申込締切

平成29年9月22日(金)

先着80名

受講料  
無料

申込方法

はがき、FAX、またはEメールで①～⑧を明記の上、文京学院大学までお申し込みください。

① 郵便番号 ② 住所 ③ 氏名(ふりがな) ④ 年齢 ⑤ 性別 ⑥ 職業 ⑦ 電話番号 ⑧ FAX番号

※お電話でのお申し込みはできません。上記いずれかの方法でお申し込みください。

お申し込み  
お問い合わせ

文京学院大学「共催公開講座」係

〒356-8533 埼玉県ふじみ野市亀久保1196 TEL:049-266-0035 FAX:049-261-8741

[f-kouza@bgu.ac.jp](mailto:f-kouza@bgu.ac.jp)

※今年度は文京学院大学の受付となりますので、ご注意ください。

# Discover Nature in Japan

## 日本人なら外に出よう！

### ～自然を愛でる旅～

#### ご挨拶

私たち日本人は、風景に想いを託し、四季の自然に遊ぶ民族でした。そのような私たちは、近年急速に自然から遠ざかっています。ここで、もう一度、自然と向き合ってみませんか？

今年は、身近な自然の楽しみ方、国立公園の楽しみ方というテーマで、2つの大学の教授陣が語ります。なお、第1日目は、ワークショップ形式で文京学院大学構内にて自然観察を行い、受講者参加型の取り組みを行います。乞うご期待！（携帯用の植物図鑑がある方は、ご持参ください。）

#### 講師紹介

### 第1日目 10月7日(土)

もりした えみこ

#### 森下 英美子

文京学院大学環境教育研究センター研究員、文京学院大学非常勤講師

専門分野は、鳥類生態学、保全生物学、環境教育学。  
大学では、循環型社会論、人間共生論を担当

身近な自然の中から今回は植物を取り上げて、自分の目で見て調べてどんなものがあるのか、図鑑の見方も含め、観察する楽しみを共有しましょう。最終的に「マイ図鑑」を完成し、「身近な自然」を見直す機会にするためのワークショップを行います。

なかやま ともはる

#### 中山 智晴

文京学院大学 人間学部コミュニケーション社会学科 教授

専門分野は、環境共生学、環境社会学、地球環境学。  
大学では、地球環境論、循環型社会論、自然環境保護論等を担当

自分たちの暮らす地域の様々な自然について、一緒に考えてみませんか。自然界の共生の仕組みを学ぶことで、豊かな自然をいかにして残し、大切にしていけるのか。最終的には、私たち人間の将来の課題も見えてくるはずですよ。

### 第2日目 10月14日(土)

ほりき みつぐ

#### 堀木 美告

淑徳大学 経営学部 観光経営学科 准教授

専門分野は風景計画学・観光経営論等  
大学では、世界遺産論、エコツーリズム論等担当

わが国では「日本を代表するすぐれた自然の風景地」である国立公園が旅行の大衆化に対して大きな役割を果たしてきました。

現在全国で34か所が指定されている国立公園を見渡し、時代とともに国立公園の楽しみ方がどのように変化してきたのか探ります。

いわむら たくや

#### 岩村 沢也

淑徳大学 経営学部 観光経営学科 教授

専門は社会学。大学では、地域おこし及び異文化理解・国際理解関連の講義を担当

「ピーター・ラビット」や「ツバメ号とアマゾン号」の舞台として知られる風光明媚な英国の湖水地方は、国立公園制度ができてあがる前に、文化人が風景を守り、環境を保全してきました。湖水地方には、19世紀のままの景観が残っています。当地の魅力を紹介します。